



# 千葉県佐倉市

千葉県佐倉市江原台2-27  
 担当課：健康こども部健康増進課  
 〒285-0825  
 ☎ 043-485-6712 FAX 043-485-6714  
<http://www.city.sakura.lg.jp/>  
 Eメール：kenkouzoushin@city.sakura.lg.jp

## 本市のデータ

- (1)面積 103.5km<sup>2</sup> (平成26年6月末現在)
- (2)人口 177,650人 (男 87,576人、女 90,074人)
- (3)世帯数 74,259世帯
- (4)平均世帯人員 2.39人
- (5)若年人口 12.0%、生産人口 61.5%、高齢人口 26.5%

平成10年頃より徐々に人口の伸び率が少なくなっている。若年人口、生産人口は徐々に減少し、高齢人口は年々増加している。

### (6)沿革

昭和29年3月31日、佐倉、志津、臼井、根郷、和田、弥富の6町村が合併し、佐倉市が誕生。昭和32年には四街道町の一部(現在の千代田地区)が仲間入りした。



千葉県佐倉市の位置

- (7)就業人口 計 52,494人  
(平成21年経済センサスより)

一次	二次	三次	公務
144人	11,937人	38,812人	1,601人
0.3%	22.7%	73.9%	3.1%

## 本市の概要

千葉県北部に位置し、都心から約40kmの距離に位置している。また、成田国際空港から西へ約15km、県庁所在地の千葉市から北東へ約20kmの距離にあり、行政面積103.5km<sup>2</sup>の首都圏近郊都市である。年間の平均気温は15℃前後で、比較的温暖な気候に恵まれている。印旛沼周辺、佐倉城址周辺、また東部、南部の農村地帯などには豊かな自然が残っている。

また旧石器時代から近代にいたる史跡や文化財が点在していることから、「歴史、自然、文化のまち」を標榜し、市民一人ひとりが心豊かに、生き生きと暮らせる活力にみちたまちを目指している。

城下町佐倉の面影が偲ばれる武家屋敷、四季折々の自然を味わうことのできる佐倉城址公園、市民文化を育む市民音楽ホールや市立美術館、オランダ風車「リーフデ」、メダリストを生んだジョギングロードなど、魅力溢れるビューポイントが数多くある。



武家屋敷「旧河原家」



日蘭親善のシンボル オランダ風車「リーフデ」

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

佐倉市では年間30～40人前後の自殺者がおり、平成22年以降、国・県の自殺死亡率を上回っていたが、平成25年は27人へ減少し、自殺死亡率も国・県を下回った。男女共、無職者の自殺が多く、原因・動機は健康問題が5割以上となっている。平成25年度から、こころの健康相談後の支援を強化し、問題が解決に向かうまで丁寧に支援することを心がけている。また、生活困窮者自立促進支援モデル事業により、関係機関が連携して生活困窮者支援に取り組んでいる。

平成25年度、市民向けにゲートキーパー養成研修を実施。「悩んでいる人が身近にいるので、自分にできることを学びたい」と、140名を超える申込みがあった。また、こころの健康づくり講演会には、246名が参加し、市民の意識を高さを痛感した。今後もゲートキーパー養成研修や、啓発活動に力を入れ、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指していきたい。

## <具体的な取組み>

### 1. 総合的な取組の推進及び関係機関との連携

- (1) 平成21年度～ 佐倉市自殺対策庁内連絡会議の開催（開催・運営） 年1～2回開催
- (2) 平成21年度～ 佐倉市障害者自立支援協議会 精神部会への参加（主催：障害福祉課）  
◆構成：家族会、事業所、相談所、医療機関、保健所、健康増進課、障害福祉課
- (3) 平成21年度～ 自殺対策地区連絡会議への参加（主催：保健所）  
◆構成：医師会（精神科医、内科医）、警察、消防、いのちの電話事務局、民生委員・児童委員協議会、管内市町村、保健所
- (4) 平成24年度～ 自殺対策地区連絡会議作業部会への参加（主催：保健所）  
◆構成：精神科救急機関病院、地域生活支援センター、職業安定所、警察、消防、市町村、保健所
- (5) 平成23年度～ 印旛地域・職域連携推進協議会 作業部会への参加（主催：保健所）  
◆構成：労働基準監督署、商工会議所、企業、農業協同組合、管内市町村、保健所
- (6) 平成24年度 自殺のない社会づくり市区町村会 関東ブロック研修会への参加
- (7) 平成25年度 自殺のない社会づくり市区町村連絡協議会 総会への出席
- (8) 平成26年度 自殺のない社会づくり市区町村連絡協議会へ参画
- (9) 平成25年度～ 生活困窮者自立促進支援モデル事業 自立支援計画支援調整会議への出席

### 2. 専門相談体制

- (1) 平成20年度～ 「精神科医によるこころの健康相談」を実施。（精神科医による無料相談。3会場で計6回）
- (2) 平成24年度～ 「カウンセラーによるこころの健康相談」を実施。（臨床心理士による無料相談。3会場で計6回）  
※平成25年度～ こころの健康相談後は、問題が解決に向かうまで丁寧に継続支援している。
- (3) 多重債務問題について、「司法書士相談」「行政書士相談」「法律・人権・行政相談」を実施。  
※毎月1～3回、相談無料。（主催：自治人権推進課）

### 3. 電話相談・面接相談：3つの保健センターで、保健師による電話相談・面接相談を随時実施。

### 4. 啓発活動

- (1) 平成23年度 佐倉市オリジナル自殺予防クリアファイルの作成・配布（3000枚）
- (2) 平成24年度 自殺対策強化月間のポスター掲示。  
“お父さん、眠れてる？”ポスターに、相談窓口をまとめたカードと一緒に設置。
- (3) 平成25年度 ①広報（1月15日号）のトップ記事に、ゲートキーパーの啓発記事を掲載。（広報で初めて自殺を取り上げた。ゲートキーパー養成研修、こころの講演会の募集記事を掲載し、かなりの反響があった。）  
②自殺対策強化月間に、図書館や市役所、保健センターに啓発コーナーを設置。  
③「守りたい かけがえのない あなたのいのち」をスローガンにした啓発のぼり旗を作成し、掲示。

### 5. うつ病対策・こころの健康対策

- (1) 健康教育や出前健康講座で、保健師による講義を実施。

### 6. 市民向けこころの健康づくり講演会

- (1) 平成19年度 テーマ：うつ病 参加 150人
- (2) 平成20年度 テーマ：睡眠 参加 52人
- (3) 平成25年度 テーマ：うつ病 参加246人  
講演会：「うつ円満セミナー あなたが大切な人にできる5つのこと」  
講師：株式会社ありがトン代表 うつ専門カウンセラー 澤登 和夫氏  
映画上映：「パッチ・アダムス」

### 7. 市民カレッジ受講生向けこころの講演会「メンタルヘルスについて」

- (1) 平成19、20、21、24年度 講師：健康増進課保健師
- (2) 平成22年度 講師：東邦大学医療センター佐倉病院精神科 教授 黒木宣夫氏 参加 96人
- (3) 平成23年度 講師：東邦大学医療センター佐倉病院精神科 助教 林果林氏 参加 81人
- (4) 平成25年度 講師：健康増進課保健師 参加 84人
- (5) 平成26年度 講師：健康増進課保健師で実施予定

### 8. 自殺を防ぐ窓口・相談対応研修

- (1) 平成23年度 ①民生委員・児童委員向け 参加 49人  
②市役所職員向け 参加 38人  
※平成24年度～ ゲートキーパー養成研修を実施している。

### 9. ゲートキーパー養成研修

- (1) 平成24年度 職員・民生委員向け 参加 56人（講師：岩手医科大学神経学講座 大塚耕太郎氏）
- (2) 平成25年度 ①職員・相談員向け 参加 52人（講師：聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 田口 学氏）  
②市民向け 参加 123人（定員70人のところ、140人を超える申込みあり。増員して実施した）
- (3) 平成26年度 ①職員向け、②ケアマネージャー向け、③市民向け、④スキルアップ研修を実施予定。

